

プラチナバブル

UFB DUAL[®]を使用することで 清潔に施設の寿命を伸ばす、 「プラミングガード」という手法。

築年数40年超の「高経年マンション」が増えるなか、給排水管の漏水などの被害も多発し、更新工事が急務に。

そこで注目されているのが住宅・施設の配管を清潔に保ち、寿命を延ばす革新的技術UFB DUAL[®]。

ナノサイズの気泡で、目に見えない隙間に入り込み、配管内壁の汚れを剥がし、腐食の進行を抑え、漏水リスクを軽減。

メンテナンスコストの削減にも貢献しており、配管寿命を延ばす「プラミングガード」手法は、多数導入されています。

プラチナバブルとは？



平均0.1～0.2マイクロメートルの泡のことで、その微細な気泡が汚れを落としやすく、マイナス電荷を帯びているため、こびりついた汚れを剥離させる効果があります



UFB DUAL[®]の特徴

UFB DUAL[®]は水道管の根本につけることで、施設・店舗で使う水をまるごとプラチナバブルにできます。外気を取り込まない独自の泡の精製法（特許取得済み）で低コスト・メンテナンスフリーを実現しています。

検証
動画

本当に汚れ
落ちるの？

プラチナバブル発生構造から、汚れが落ちるまでを動画でご確認ください。

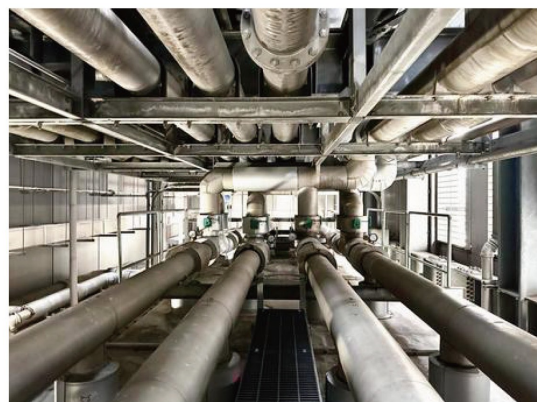


詳細はこちら



給排水管の寿命は約40年

日本では、築40年以上が経過するマンションの数が今後急激に増加すると予測されています。国土交通省の調査によると、2023年時点では約131万戸だった築40年以上のマンションが、2043年には約464万戸に適する見込みです。これは、高度経済成長期に建設された集合住宅の老朽化が一斉に進むことを示しており、今後の大規模修繕や建て替え、住環境の維持管理において、深刻な課題となることが懸念されています。



腐食による水漏れ被害が多発

給排水管の腐食は、築年数の経過とともに進行し、目に見えない形で建物内部に深刻なダメージを与えます。特に多く見られるのが「水漏れ」のトラブルであり、国土交通省の調査でも建物の不具合の中で最も多く報告されています。水漏れを放置すれば、建物の構造部分にまで影響が及び、修繕費が高額になるだけでなく、マンション全体の資産価値が大幅に低下する可能性があります。早期の点検と対策が、住まいの安全と資産の保全にとって非常に重要です。



迫り来る「排水管クライシス」…
老朽化を回避し、
価値向上を目指す。

施設の配管を清潔に保ち、寿命を延ばしコスト削減

配管内の汚れを抑制・洗浄。プラチナバブルが、目に見えない隙間に入り込み、配管内壁の汚れを剥がしやすくします。汚れが付着しにくくなることで、腐食の進行を抑え、漏水リスクを軽減します。配管寿命を延ばし、大規模更新のタイミングを先延ばしする効果も期待されます。



《測定イメージ》

水圧：
0.5kgf/cm²
一般家庭の水圧は
1.5～3kgf/cm²

ワンパス通水
(一度しか水がノズルを通らない環境下で検証)

流量：
2.0L～9.7L/分

プラチナバブルTM
5,000～7,000万個 / 1ml

水の使用量削減や配管のメンテナンス軽減

配管内部に付着しがちな汚れやバイオフィルムの形成を抑える作用があり、給排水設備のメンテナンス頻度を軽減。建物全体の管理コスト削減にもつながります。清潔な配管環境を保つことは、長期的な建物価値の維持にも寄与する重要な要素です。



給湯器の延命に効果的

エコキュートやガス給湯器は定期的な掃除メンテナンスが必要です。また、貯湯式では、タンク内に水を貯めている給湯方式なので長年使用していると衛生的にも気になります。常に清潔な水／プラチナバブルの水では、そんな心配も解決です。また、機体本体への汚れも大幅に軽減されますので機体機能の延命にもつながります。



設備別のメリット

トイレ・洗面

清掃負担の軽減・美容効果・設備の長寿命化を同時に実現。洗剤や水道代のコスト削減に加え、排水管の衛生維持にも貢献します。



厨房・給排水

油汚れの洗浄力が向上し、洗剤や水道代を削減。グリストラップや排水管のヌメリ・臭いも抑制するため、清掃負担が減り、厨房の衛生環境が向上します。



シャワー・洗浄機器

シャワーでは毛穴汚れの洗浄と高い保湿効果を発揮。洗浄機器ではスケール付着や配管詰まりを抑制し、メンテナンスコストや洗剤量を削減。機器の本来の性能を長く維持します。



設置は、なるべく汚れが蓄積する前がオススメ！

設置が早ければ早いほど、水回りの設備や機体・備品などの汚れが付きにくくなる効果を早く実感できます。

特に、大量に水を使う給湯器などは目に見えない配管内部のコンディションを良好に保ち、製品の長寿命化にもつながります。

